

令和元年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：先端産業課
 担当名：次世代産業拠点整備担当
 内線：3933 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B30	農大跡地活用等推進事業			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	次世代産業支援費	
事業期間	平成27年度～	根拠法令				宣言項目	08 稼ぐ力の向上		
						分野施策	040831 新たな産業の育成と企業誘致の推進		
1 事業の概要				5 事業説明					
<p>鶴ヶ島ジャンクション周辺地域について、農大跡地を中心に先端産業・次世代産業などの成長産業を集積して経済の好循環をもたらすとともに、AI・IoTなどの先進技術の活用を促進して超スマート社会を実現する。</p> <p>(1) 農大跡地活用推進事業 △66,106千円 計画の見直しなどによる坂戸、鶴ヶ島水道企業団への負担金等の減額</p> <p>(2) 農大跡地周辺地域活用推進事業 △3,010,882千円 地権者との合意形成が整わなかったことによる周辺地域の用地取得関係経費の減額</p>				<p>(1) 事業内容 農大跡地について、先端産業・次世代産業などの成長産業を集積するため、土地区画整理事業などを進める。農大跡地周辺地域について、ドローンや自動運転など近未来技術の実証フィールドを整備する。併せて、AI・IoTの活用促進を図るため、LPWA等の情報基盤やAI技術等の利用環境などを整備する。</p> <p>(2) 事業計画 令和元年度 農大跡地：環境影響評価（事後調査）、土地区画整理事業（造成工事、公園・緑地整備等）等周辺地域：実証フィールド整備（用地取得、土地造成等実施設計、環境調査、地質調査等）、AI・IoT活用促進</p> <p>令和2年度以降 農大跡地：維持管理業務等 周辺地域：実証フィールド整備（造成工事等）、AI・IoT活用促進</p> <p>(3) 事業効果 先端産業・次世代産業などの成長産業の集積により、経済の好循環をもたらす。AI・IoTなどの先進技術の活用により、超スマート社会を実現する。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 地元鶴ヶ島市や周辺自治体等と連携して事業を進める。</p> <p>(5) 補正予算の概要 ア 農大跡地活用推進事業 計画の見直しなどによる坂戸、鶴ヶ島水道企業団への負担金等の減額 イ 農大跡地周辺地域活用推進事業 地権者との合意形成が整わなかったことによる周辺地域の用地取得関係経費の減額</p>					
2 事業主体及び負担区分									
(県10/10) [(1), (2)のうち以下を除く事業] (県10/10) 事業者0 [(2)LPWA実証実験補助] (国1/2・県1/2) [(2)AIコンソーシアム、AIプラットフォーム] (国1/2・県1/2) 公社0 [(2)オナーメイト型AI・IoT研修事業]									
3 地方財政措置の状況									
普通交付税（単位費用） (区分) 地域振興費 (細目) 地域振興費 (細節) 地域振興共通経費									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×8人=76,000千円									
				財 源 内 訳					
予算額		国庫支出金	分担金・負担金	財産収入	繰入金			一般財源	補正後の 予算額
決定額	△3,076,988		2,532		△3,079,520			0	1,129,464
現計額	4,206,452	20,830	68,514	96	4,117,012			0	